

令和4(2022)年度

科学研究費助成事業

科研費

公募要領

「基盤研究(C)」及び「若手研究」における
独立基盤形成支援(試行)

(応募書類の様式・記入要領)

令和4(2022)年3月23日

独立行政法人日本学術振興会

(<https://www.jps.go.jp/>)

令和4(2022)年度

「基盤研究(C)」及び「若手研究」における独立基盤形成支援(試行)

独立基盤形成計画調書作成・記入要領

独立基盤形成計画調書は、独立基盤形成支援(試行)の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会(以下、「日本学術振興会」という。)宛て提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究費委員会における審査資料となる**ものです。

ついては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成すること。

なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、追加交付内定の通知が行われ、この通知に基づき変更交付申請書を提出し、計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることとなります。

記

総表

【支援対象者一覧】

応募する支援対象者について、氏名、所属部局、職名、研究種目、課題番号を記入すること。なお、「課題番号」欄には、今回の支援対象者の要件となる令和4年4月1日現在で研究代表者として新規に採択された「基盤研究(C)」又は「若手研究」の課題番号を記入すること。

また、複数の支援対象者がいる場合は、左欄の「優先順位」に対応する者の順に記入すること。

個票1 ※支援対象者ごとに1頁以内で作成すること。

1. 支援対象者の要件確認

公募要領に記載された支援対象者の要件について、所属する研究機関において確認した項目のチェックボックスにチェックを入れること。(応募に当たっては、全ての項目にチェックが入ることが必須となります。)

2. 研究基盤整備の目的・必要性・取組内容

当該支援対象者に対して、所属する研究機関が実施する研究基盤整備の目的、必要性、取組内容について、当該支援対象者の希望に基づき、当該支援対象者と協力して簡潔に記述すること。

個票2 ※支援対象者ごとに1頁以内で作成すること。

3. 研究基盤整備経費の内訳

当該支援対象者に対して、所属する研究機関が実施する研究基盤整備経費の内訳について記入すること。(小計欄、総計欄には合計金額を自動算出する数式が設定されていますが、行が足りない場合は、適宜行を挿入して作成すること。)

なお、「研究基盤整備(I)」と「研究基盤整備(II)」の合計金額が300万円以上であることを確認するとともに、「研究基盤整備(I)」について、150万円を上限として、当該研究課題の遂行に直接必要な経費であり、直接経費から支出可能であることを所属する研究機関において確認のうえチェックボックスにチェックを入れること。

「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」第10条(4)に基づき、配分額は10万円単位(10万円未満切り捨て)となります。

個票1、2ともに支援対象者氏名欄に記入漏れがないよう御注意ください。